



教員が研究の楽しさを語る

第153回(4/18)米村 千代 先生推薦

ブックガイド



※掲載されている本はL棟2階 あかりんアワーのコーナーに配架されます。

Book1

「家」を読む

著者：米村千代著

出版：弘文堂, 2014.11

コメント：「家」がどのように論じられてきたのか、そこから現代社会における家族関係や家族と社会との関係を考える示唆を探った単著です。これから「家」について学ぼうという人や「家」について知りたいという人に向けて執筆しました。



Book2

よくわかる現代家族 (第2版)

著者：神原文子, 杉井潤子, 竹田美知編著

出版：ミネルヴァ書房, 2016.5

コメント：近代家族の形成と変容に関するいくつかの項目を執筆しています。この本は、現代家族に関する様々なトピックを多くの家族研究者がコンパクトに解説しています。ここで紹介しているなかでは一番わかりやすい入門書です。



Book3

秩序と規範：「国家」のなりたち (岩波講座日本の思想 第6巻)

著者：苅部直 [ほか] 編集委員

出版：岩波書店, 2013.6

コメント：「イエの変遷」という章を執筆しています。近世から現代までの「家」の変遷を思想史という視点からまとめています。





Book4

「家」の存続戦略：歴史社会学的考察

著者：米村千代著

出版：勁草書房, 1999.9

コメント：家訓や家憲を資料として、近代日本における「家」の変容を分析した単著です。博士論文をもとに執筆しました。

